

(所在地：鹿児島県鹿児島市)

鹿児島大学 稲盛会館は、工学部の卒業生であり、(株)京セラの創業者で会長を務めた稲盛和夫氏より寄贈された¹⁾。設計が安藤忠雄建築研究所で、入学前から知っていた建築学科の学生もいる。施工は銭高組・小牧組で、1994年竣工。



鹿児島市市電の「工学部前」電停方面より。
電車通りから見るとガラス張りであるが
緑に囲まれた姿が抑制的。



鹿児島大学郡元キャンパス「工学部門」より。
工学部はもちろん鹿児島大学を象徴する光景である。



正面より。稲盛会館を印象づけるタマゴは
モニュメントであると同時に内部の大ホール
(キミ&ケサ メモリアルホール)を抱くシェルター。



郡元キャンパス「工学部通り」より。
午前光を受ける姿は輝かしい。
タマゴの上半分は当時最新の高流動コンクリート²⁾。



「工学部通り」の北側より。
工学部のほとんどの建物からはこの通りを行く。
「会場は稲盛会館」という時、自然と高揚感を覚える道。



北側は広場が設けられていて憩いの場である。
手前のRC壁に沿って設けられたスロープが見える。
屋上から突き出た展望デッキが孤立を拒むよう。



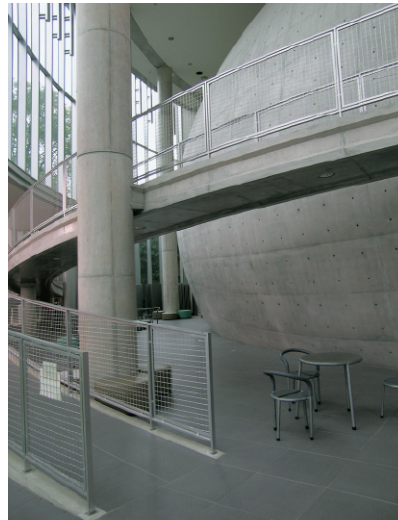
正面玄関を入った所。
曲面への強いこだわりが感じられる。



左手に進み、薄暗い通路を光を求めて通って行く。
長く留まると不安感に襲われそう。



やっと明るいところへ出たと思ったら
そこはまた小宇宙。



スロープの入口からタマゴを展望。
どこまで行っても全体が見えない。



振り返るとそこにもタマゴ (小)。



スロープを上がり切ると、左手にホール入口。
ホール内は孔あき合板で仕上げしてある。



右手にはタマゴの裏側。
なぜかここでようやく腑に落ちる感覚を得る。

参考文献

- 1) 国立大学法人 鹿児島大学工学部：稲盛会館のご案内, <http://jimv.eng.kagoshima-u.ac.jp/inamori/>
- 2) 西 豊明ほか：卵形コンクリート構造物の施工—稲盛会館の施工—, 銭高組技報, No.20, pp.121~127, 1995. 10

編集・文責：黒川善幸（鹿児島大学）